

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

款：土木費 項：土木管理費 目：土木総務費
 款：農林水産業費 項：農地費 目：農地事業諸費
 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費
 款：水道事業費用 項：営業費用 目：原水及び浄水費
 款：流域下水道事業費 項：建設費 目：建設費

事業名 岐阜県設計積算システム 最適化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設情報係 電話番号：058-272-1111 (内 3630)

E-mail: c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費		6,000千円 (前年度予算額: 3,000千円)		3,000千円
	県土整備部	3,466千円 (前年度予算額: 1,734千円)		1,734千円
	農政部	1,067千円 (前年度予算額: 534千円)		534千円
	林政部	1,067千円 (前年度予算額: 534千円)		534千円
	下水道課	133千円 (前年度予算額: 66千円)		66千円
	水道企業課	267千円 (前年度予算額: 132千円)		132千円

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
要求額	6,000	0	0	0	0	0	0	0	6,000
決定額	6,000	6,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

第6次岐阜県設計積算システムは、令和3年度に必須ソフトウェアを独自カスタマイズ (OpenJava化) し、テレワークでの積算に対応した。

OpenJavaは3カ月に1回 (最大年4回)、脆弱性等の改善のためにバージョンアップが予定されているが、必須ソフトウェアを独自カスタマイズしたシステムの動作は、ベンダーで保証されない。

(2) 事業内容

必須ソフトウェア (OpenJava) のバージョンアップ毎に積算システムの動作確認、微修正を行うことは、セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停

止を回避するために不可欠である。そのため、令和4年度に予定される3ヵ月に1回のOpenJavaのバージョンアップ（最大4回）毎に、積算システムの動作検証が必要である。

適切な積算システムの動作確認等を行うことにより、適正な予定価格の算出及び、積算事務の効率化がもたらされる。

（3）県負担・補助率の考え方

県発注の建設工事の予定価格を算定するシステムであるため、所要経費は県負担となる。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,000	積算システムの動作確認、修正
合計	6,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

コロナ社会を生き抜く行動指針（岐阜県令和2年5月15日 策定）

（2）国・他県の状況

働き方改革実行計画において、柔軟な働き方がしやすい環境整備の一環としてテレワークが位置付けられている。

（3）後年度の財政負担

なし

（4）事業主体及びその妥当性

発注者が利用するシステムであるため、県が主体となって行うべきである。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

必須ソフトウェア (OpenJava) のバージョンアップ毎に積算システムの動作確認、微修正を行うことは、セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するために不可欠である。そのため、今年度に予定されるバージョンアップ（4回）について、積算システムの動作検証を実施し、正常な動作を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

岐阜県設計積算システムにおいて、情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するための委託料であり特に指標となる数値はない。

（前年度の取組）

令和2年度	特になし
令和3年度	<p style="color: red; margin: 0;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="margin: 0;">指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑えるだけでなく、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避するために不可欠である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	セキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑え、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避することにより積算の正確性を確保している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	年度内に予定されている4回のバージョンアップに対し、積算システムの動作検証を実施し、正常な動作を維持するものであり、必要最小限かつ効率的な事業である。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

次年度以降もセキュリティホールをついた情報漏洩等の可能性を抑え、積算システムの動作不良による違算の防止及び、積算業務の停止を回避することにより積算の正確性を確保するために、必要な処置を講じる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	